令和3年度　島根中央子牛共進会開催

▲グランドチャンピオンを受賞された「ふくみさき2」号と出品者の内田勇さん（右手前）

11月12日、松江市宍道町の島根中央家畜市場で、令和3年度島根中央子牛共進会が開催されました。共進会には、県内東部の市町から31頭が出品され、生後4～12カ月の肉用子牛を対象に、発育や栄養度などについて審査が行われました。

本町からは、第1区に6頭、第2区に4頭が出品され、第1区主席に三沢地区 内田勇さん出品の「ふくみさき2」号が、第2区主席に奥出雲町農業公社出品の「きよさつき」号がそれぞれ選ばれました。この2頭でグランドチャンピオン決定戦を行い、内田さんの「ふくみさき2」号が受賞されました。

また、他の出品牛の多くが上位入賞を果たし、和牛飼育技術のレベルの高さを見せ、奥出雲町の名声を高めました。

【主な成績】グランドチャンピオン　ふくみさき2　内田　勇（三沢）

出品区	成績（序列）	名　号	出品者	地　区
第1区 生後4か月～8か月未満	優秀賞　主席	ふくみさき2	内田　勇	三沢
	〃　2席	まつざくら	金倉　弘美	阿井
	〃　3席	まなみ	景山　三保子	三成
	〃　4席	えいこ3	藤原　スエ	布勢
第2区 生後8か月～12か月未満	優秀賞　主席	きよさつき	奥出雲町農業公社	
	優秀賞　5席	ふくやす	藤原　光雄	八川
部位賞	後軀の部	ひろひめ3	古田川　武則	馬木

第12回 全国和牛能力共進会 繁殖雌牛群 島根県代表地区選抜会開催

令和4年10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会の繁殖雌牛群島根県代表地区を決める選抜会が11月25日、松江市宍道町の島根中央家畜市場で開催されました。

本町からは、下記の候補牛4頭が出品され、雲南市及び大田市と県代表地区の座を競いました。

出品者の皆さんは日々の飼養管理や、調教の練習を積み、選抜会に臨みましたが、県代表地区には大田市が選ばれ、残念な結果となりました。他の出品区での第12回全国和牛能力共進会出場を目指し今後も和牛飼育技術の向上に励んでまいります。

▲町代表の出品牛、出品者のみなさん及び和牛改良組合のみなさん

奥出雲町代表者

出品牛	出品者	地区
はつゆりみつ	佐藤　安則	亀嵩
みつき	和泉　宏幸	阿井
きくみくに	金倉　弘美	阿井
くにさくら	奥出雲町農業公社	

「奥出雲仁多米株式会社　おいしい仁多米をつくる会」

祝 第23回米・食味分析鑑定コンクール国際大会 11回目の金賞受賞

第23回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が、11月27日に静岡県小山町において開催されました。「奥出雲仁多米株式会社　おいしい仁多米をつくる会」が国際総合部門に出品した仁多米コシヒカリは、5年連続11回目の金賞を受賞しました。

国際総合部門には、4,883点が出品され、1次、2次審査の食味分析計や味度計の審査を通過した42点が最終審査へ進みました。そして、最終審査では、食味鑑定士による「外見・香り・粘り・堅さ・うま味」の5項目を基準とする感応審査で、各賞を決定しました。

奥出雲仁多米株式会社の内田管理部長は、「記録的な大雨や日照不足など天候不順が続いた中での金賞受賞は大きな価値があります。栽培技術が高く評価されたことは、仁多米生産農家の皆さんにとって大きな自信と励みになります。高品質ブランド米として「仁多米」の実力を全国へ発信していきます。」と意気込みを語りました。

また、大型農業法人部門（総作付け面積50ha以上）でLLP横田特定農業法人ネットワーク（代表 嵐谷勝義さん）が出品した仁多米コシヒカリが特別優秀賞を受賞されました。

【仁多米を購入された方からのコメントを紹介します。】

- いつも美味しくいただいています。これからも体に気を付けて頑張ってください。
- 子供がいつも「お米が光ってる!」と言って美味しそうに食べます。
- 本年度も愛情を持って育てて下さったお米を毎日美味しくいただいています。
- お米とってもおいしかったです。5歳、7歳の息子もたくさん食べています。

きらり☆輝く地域づくり事業

～活動紹介～

仁王像プロジェクト横田 「Issyoni Tomoni（いっしょに ともに）　プロジェクト2021」

11月23日から6日間にわたり、「仁王像フェスティバル　Issyoni Tomoni（いっしょに ともに）プロジェクト2021」が、大市本町会館にて開催されました。23日のオープニングセレモニーでは、仁王像移管イベントが行われ、オランダ総領事館のマーク・カウパース総領事、勝田町長をはじめ、町民の皆さんやオンラインによりオランダからも参加がありました。

デルフトタイル仁王像とは、オランダの伝統的なデルフト焼のタイルで再現された仁王像です。このモデルとなった仁王像は、横田の岩屋寺から流出し、アムステルダム国立美術館に展示されているもので、この仁王像に代わるものを本町へ返還したいと、オランダの彫刻作家イエッケ・ファン・ローンさんが発案者となり、町民とオランダの皆さんによる共同作業により、平成29年から2年をかけて製作されました。

その後、横田コミュニティセンターに展示されていましたが、この度、大市本町会館にて展示されることになりました。

6日間のイベントでは、たたら製鉄の歴史、両国の教育やアートについてのオンライントークセッションなどが開催され、交流を深めました。

▲マーク・カウパース総領事とデルフトタイル仁王像